

令和5年度（茅ヶ崎北陵高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（公務外非行防止、職員行動指針の周知徹底）	個人としての生活時間帯における不祥事や県民の不信を招く行為等の原因について教職員一人ひとりが自覚するとともに認識を深め、教育公務員として「法令遵守」意識をより確固としたものにし、非行を未然に防止する。	不祥事防止研修会等で職員啓発資料等を活用し、教育公務員としての自覚を喚起することができ、不祥事案は見られなかった。
②職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場のハラスメントを未然に防止する。	校長面談時に実態把握をするとともに、一人ひとりの職員が主体的に考えるように指導した。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	職場研修を通して、職員に当事者意識を持たせた。また、生徒の連絡先の適正な取得・管理方法等について、改めて周知し遵守することを確認した。
④体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導の発生を未然に防止する。	人権教育研修会を学習支援グループ主催で実施し、不適切な指導の発生の未然防止を図った。
⑤-1 入学者選抜における事故防止	神奈川県高等学校入学者選抜（以下「入学者選抜」という。）の確実性及び信頼性を高めるため、入学者選抜における採点及び点検業務について検討し、確実に入学者選抜を実施するための方策を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい方式による入学者選抜を、適切かつ確実に実施するため、マニュアルを改訂し、誤りのない選抜業務を行った。 ・特に入学者選抜において採点の誤りの防止を確認した。
⑤-2 成績処理に係る事故防止	成績処理にあたっては成績処理マニュアルに基づき、教務手帳への転記、統合型校務支援システムへの入力・確認について、複数人によるチェック体制を確立し、誤りを未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績処理にあたっては、教科担当者と学務グループが連携し、成績処理マニュアルに基づき、複数人によるチェック体制を確立し、確実な点検を行った。
⑤-3 進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	調査書の作成にあたっては、本校のマニュアルに基づき、複数人によるチェック体制を確立し、作成の誤り等を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の作成にあたっては、学務グループと進路支援グループ及び3学年担任団が連携し、複数人による確実な点検を行った。

⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の漏えい及び紛失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個人情報は原則として校外に持ち出さないこと、やむを得ず持ち出す際は、個人情報持ち出し許可願いを提出し、許可を得ることを周知し確認した。 生徒・保護者等の携帯電話番号・メールアドレスを収集するときは、必ず文書による承諾を得ることを改めて周知し、確認した。
⑦交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	交通事故の発生を未然に防止する。 酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 車の運転時は余裕をもち、安全確認を怠ることがないように注意喚起した。 飲酒時は、各自の適量を守るよう注意喚起した。また、翌日に車等の運転の予定があるときは飲酒の量と飲酒を終える時刻に気を付けることを確認した。
⑧業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務遂行体制の充実を図る。	職員が一人で業務上の困難やストレスを抱え込むことがないように、同僚性を醸成することを心掛けた。また、積極的な声掛けを通して、風通しの良い職場作りを心掛けた。
⑨適正な経理処理（私費会計処理）	私費会計に関する不祥事の発生を未然に防止する。	私費会計担当者及び部活動顧問(会計担当)を対象に適正な会計処理について、確実な実施を心掛けるよう確認した。
⑩定期テストについての事故防止について	定期テストにおける問題作成、点検、実施及び回収、実施後の受け渡し等チェック体制を確立し、出題の誤り等を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト問題作成時の点検、および点検後の保管について所定の手続きに従い、確実な点検作業を行った。 定期テスト実施時の監督方法、および実施後の担当者への解答用紙の渡し方等、所定の手続きに従い、確実に実施した。 定期テストの採点、および採点後の返却・採点確認について所定の手続きに従い、確実に実施した。
⑪保護者対応に係る事故防止	社会環境の変化、家庭環境の複雑化等、学校を取り巻く環境が変動している中で保護者とのトラブルを未然に防止する。	職員間の情報共有等を的確に行い迅速・適切な対応を心掛け、保護者と連携した生徒の課題・問題への取組み等に向け、保護者との信頼関係や協力関係を構築するよう努めた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・行動計画については、概ね目標を達成することができた。
- ・令和6年度入学者選抜については、新しい方式に対応するため、出願時から採点及び点検業務に至るまで全体を見直し、誤りのない入学者選抜を実施した。
- ・公務外非行防止、セクハラ・わいせつ行為の防止、不適切な指導の防止、成績処理・進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止、情報セキュリティ対策、交通事故防止について引き続き取り組む。